

令和5年度 長崎県立大崎高等学校 経営方針

1. 長崎県教育方針

長崎県の教育は、国際交流の歴史が息づく郷土の伝統と文化を継承し、豊かな自然を守るとともに、命の尊さや個人の尊厳を重んじ、公共の精神を身に付け、我が国や世界の平和と発展に貢献していこうとする調和のとれた人間の育成をめざす。

学校・家庭及び地域住民は、「教育県長崎」の確立のため、自らの役割と責任を認識し、互いに手を携え、県民挙げて子どもたちを健やかに育むとともに、生涯にわたって学び続けることのできる社会の実現を図る。

とくに、教育に携わる者は、子どもたちに深い愛情を注ぎながら、その使命を自覚し、識見と指導力を高め、本県教育の充実と発展に努めなければならない。

2. 本県教育が目指す人間像

- ・創造性に富み、自立した人間
- ・いのちを重んじ、心豊かでたくましい人間
- ・郷土及び国家を担う責任を自覚し、その形成と発展に主体的に参画する人間
- ・我が国と郷土の伝統・文化や自然を誇りに思い、これからの国際社会を生きる人間

3. 校訓

- 気魄 … 何事にも積極的に自ら進んで取組み成し遂げること
克己 … 困難を克服する強靱な精神を持続的に堅持すること
英知 … 絶えず視界を広め、広くて深い心を養い育てること

4. 教育スローガン

「個性を活かし、人間力を育む、大崎高」

5. 育てたい生徒像

- ・目標に向かって果敢に挑戦し、前進できる生徒
- ・自己の内面を見つめ、他人のことを思いやることのできる生徒
- ・豊かな教養と品性を備えた生徒

6. 努力目標

- (1) 生徒一人ひとりの特性に応じつつ、目標を持たせ乗り越えさせる指導
- (2) 人権を尊重する態度、人間力の育成
- (3) 授業力の向上、学習と部活動・諸活動との両立支援
- (4) 進路実現に向けた細やかな指導

7. 努力目標達成に向けた取組

(1) 生徒一人ひとりの特性に応じつつ、目標を持たせ乗り越えさせる指導

- ①短期的な目標を持たせ、それを達成させることにより自己肯定感を醸成する。
- ②全体と個別のバランスを図りながら、生徒一人ひとりの成長を促す。
- ③支援が必要な生徒の状況を全職員で共有し、充実した学校生活を送られるよう必要な支援を行う。

(2) 人権を尊重する態度、人間力の育成

- ①モラルやマナーを身に着けさせ、適切な言動と判断力を育成する。
- ②お互いを思いやり、協調性をもって物事に取り組み成長できる支援を行う。
- ③学校行事や部活動の推進により、リーダーシップや連帯感を育む。

(3) 授業力の向上、学習と部活動・諸活動との両立支援

- ①「発問の工夫」と「やりとりのある授業」を実践し、基礎・基本の定着及びその活用力の育成を図る。
- ②わかりやすさや授業の効率化を図るため、タブレット等のICT機器を積極的に活用する。
- ③学力向上と家庭学習の習慣化を図るため、計画的な課題・小テストの実施など、粘り強く指導する。

(4) 進路実現に向けた細やかな指導

- ①計画的に上級学校や企業に関する情報を提供し、進路意識の高揚を図る。
- ②面談を適宜行い、生徒を励ましながらか希望に沿った進路実現に努める。
- ③生徒の実態や必要に応じ、個別指導を計画的に継続して行う。

(5) その他

①美化意識の高揚、教育環境の保全と充実

②同居連帯型中高一貫教育の推進

ア 中高それぞれの教育課程を理解し、連携を取りながら指導体系を確立させる。

イ 中学生へ進路選択に関する情報を提供するとともに、本校へ進学する生徒を確保する。

③地域活性化への貢献

ア 地域の文化・歴史・産業に関心を持ち、地域が抱える課題やその解決策を考え発表できる態度を養う。

イ 社会の一員として責任をもって行動できる成人・有権者意識の醸成を図る。